



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信／国内／株式

2018年6月20日

- ★ 国内株式市場は、重要イベントを波乱なく通過したことで、今後は企業業績などファンダメンタルズに着目した銘柄選別が進むと考えられます。
- ★ 当ファンドでは、三つの視点で銘柄選別を強化してきました。

1. 重要イベントを通過後の国内株式市場

6月前半の国内株式市場は、米朝首脳会談や米連邦公開市場委員会(FOMC)、欧州中央銀行(ECB)の金融政策に関する会合など重要イベントを前に神経質な動きとなりました。しかし、需要イベントを波乱なく通過したことで、市場参加者は今後、マクロ経済動向や個別企業の業績動向などファンダメンタルズに着目した銘柄選別を強めると考えられます。

2. 業績予想の下方修正は今後一服へ

証券会社のアナリストによる国内上場企業の業績予想は、3月以降、下方修正される動きが優勢となっています。しかし、5月の外需関連業種のリビジョンインデックスはマイナス幅が縮小しており、下方修正のピークが過ぎたと考えられます(図表1)。ドル円レートが足元で円安基調で推移していることなどを考慮すると、アナリストによる企業業績の下方修正が一服してくることで、投資家の企業業績に対する期待値が今後高まってくると考えられます。

3. 銘柄間の格差が拡大

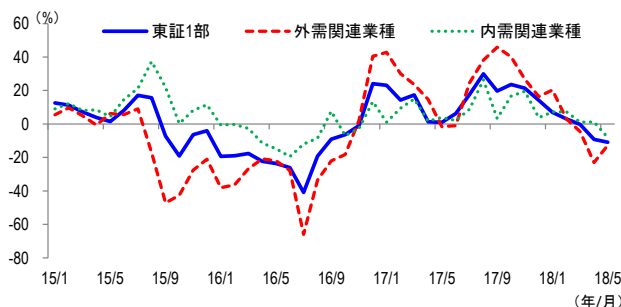
図表2は小売業種銘柄の3月末からの株価騰落率のばらつきを示したものです。株価騰落率は0%を中心に大きく分散していることが確認出来ます。仕入価格や人件費などのコスト上昇を販売価格に転嫁出来ている「価格決定力」の高い企業と、そうでない企業で株価に明暗が分かれる「二極化」が強まっています。この銘柄間格差の拡大は、小売業に限らず、多くの業種で確認されます。

4. 当ファンドの運用状況

1-3月期の決算発表が一巡した5月中旬以降、当ファンドでは投資環境や市場参加者の投資マインドなどを考慮し、三つの視点で銘柄選別を強化してまいりました。それは、これまで通りの①独自のビジネスモデルを背景とした自律的な業績拡大が見込まれる銘柄に加え、②慎重な業績予想が失望され株価が下落した銘柄、③「価格決定力」が高いと考えられる銘柄です(図表3)。

今後も、投資環境に応じた柔軟な視点で銘柄を選別していくことで、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

(図表1) リビジョンインデックス※ (前月差)

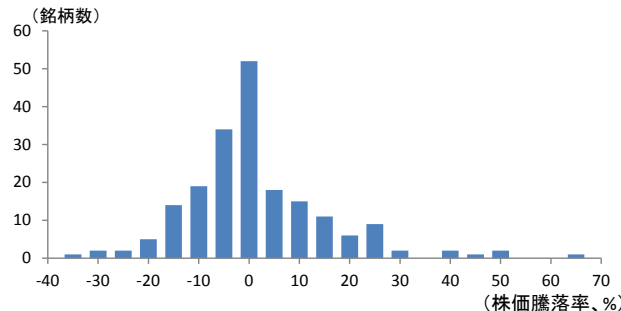


※ アナリストによる業績予想の修正を指数化したもの。上方修正された銘柄数の比率から下方修正された銘柄数の比率を差し引いて算出。

(期間) 2015年1月～2018年5月、月次

(出所) 岡三証券のデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表2) 小売業種銘柄の株価騰落率のばらつき



※ 東証1部に上場する小売業種銘柄の3月30日から6月15日までの株価騰落率

(出所) QUICKのデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表3) 当ファンドでの主な買付銘柄

(期間) 2018年5月16日～6月15日

①独自のビジネスモデルによる自律的成長

銘柄コード	業種	銘柄名
2928	サービス業	RIZAPグループ
4384	情報・通信業	ラクスル

②慎重な業績予想が失望された銘柄

銘柄コード	業種	銘柄名
1893	建設業	五洋建設
6639	電気機器	コンデック

③「価格決定力」の高さ

銘柄コード	業種	銘柄名
4046	化学	大阪ソーダ
7231	輸送用機器	トピー工業

※ 上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

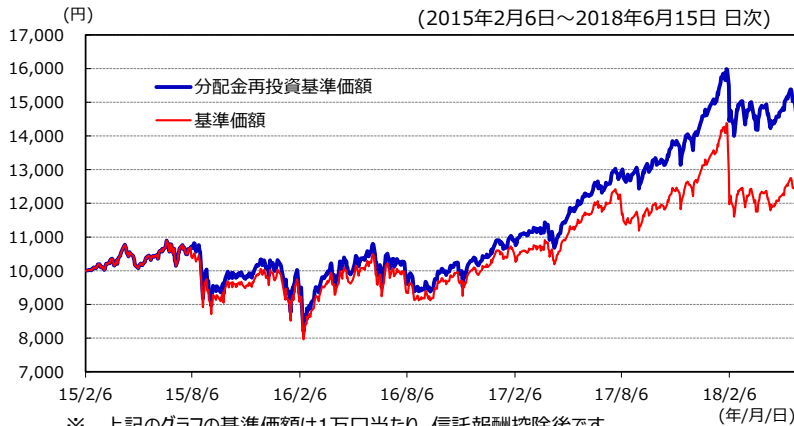
■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

運用状況

(作成基準日：2018年6月15日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	12,742円
純資産総額	8,552,170,761円
実質株式組入比率	94.8%
組入銘柄数	81銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

分配金実績

設定来累計	2,300円
-------	--------

※ 分配金は1万口当たり（税引前）です。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	17.2 %
2	情報・通信業	10.4 %
3	化学	9.1 %
4	小売業	8.8 %
5	不動産業	8.1 %
6	電気機器	7.8 %
7	機械	7.4 %
8	ガラス・土石製品	6.0 %
9	建設業	3.1 %
10	卸売業	3.0 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	3092	スタートトゥデイ	3.8 %
2	6516	山洋電気	3.7 %
3	3479	ティーケーピー	3.6 %
4	3679	じげん	3.2 %
5	5344	MARUWA	2.9 %
6	6235	オプトラン	2.5 %
7	8919	カチタス	2.4 %
8	6058	ベクトル	2.2 %
9	6134	FUJI	2.2 %
10	4587	ペプチドリーム	2.2 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	1.0 %
東証1部中型株	12.9 %
東証1部小型株	62.5 %
東証2部	1.6 %
ジャスダック	1.3 %
東証マザーズ	14.8 %
その他市場	0.7 %

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色



- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
 ※日本の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。

(作成：運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長(金商)第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>
フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)